毎月の事業報告！
2022.12.15 December
会報 まちスポ Machispo Vol.106
雪だるま作ろ〜♬
Since 2012.3.4

フレスポ飛騨高山 10周年祭

開催日：2022年11月12日（土）・11月13日（日）　**来場者合計：**946名

フレスポ飛騨高山 ファミリーフェスティバル

交流スペースの横に設置された特設ステージでは「親子で楽しい!」をテーマにフレスポ飛騨高山ファミリーフェスティバルが開催されました。

1日目は、バルーンアートや音楽を通じて体を動かすリトミック、パネルシアター、プレゼント付きクイズ大会などを開催。

2日目はあいにくの雨でしたが交流スペースを開放し、音楽に合わせて体を動かしたりしながら屋内からステージを楽しんでいただきました。

飛騨地域で活動される団体や市民があの手この手で子供たちの笑顔をたくさん引き出してくださった楽しい2日間となりました。

ハンドメイドマルシェ

まちスポ飛騨高山屋内スペースで2日間に渡り開催された「ハンドメイドマルシェ」は、7名の様々なジャンルの作家さんが出店くださいました。

これからの時期に重宝する手作りのアクセサリーや、雑貨、小物、スィーツなど作家さんのアイディアと思いの詰まったグッズが所狭しと並びました。来館されたお客様は各ブースをゆっくりと回り、直接作家さんとおしゃべりしながらお買い物を楽しんでいる姿がとても印象的でした。

また、作家さん同士の交流の場にもなり、作家さんからは「コロナ前のような活気で、またぜひまちスポでマルシェを企画したい」とのお声がありました。

出店者：soror、Bunny、みぃ*、Mamie、やってみよう展実行委員会、la fraise、leaf*garden

～大人時間～ 周年祭夜の部

1日目のみ開催した夜の部は、焚き火を囲みながら音楽とお酒が楽しめる大人の時間として、81cafeでのアコースティックライブ、縁たく・パーラーだるまによるフード販売、竹灯籠のワークショップなどを開催しました。大人はもちろん、子どもたちも焚き火にあたってスープを飲んだり、かけっこしたりと大はしゃぎ。大人は音楽を楽しんだり、焚き火を囲んで談笑したり終始まったりとした様子でした。この時期にしては珍しく気温5度と比較的暖かい夜だったのも功を奏したのか多くの方に来場いただけてよかったです。

ワークショップ参加者　7名

白書勉強会#0

地域課題の解剖図「ひだスキマ白書」。2022年9月に実施したクラウドファンディングでは、153人794,000円のご支援と、多くの応援をいただきました。その白書がこの冬完成予定です。この勉強会では、これから製本する原稿を少しでも早く皆様と共有したい!ということで、まだ完成前ですが、第0回と題して今回ピックアップした地域課題や課題解決の取り組みをちら見せ＆解説しました。飛騨地域の20年後の人口予測や、今直面している、またはこれから起こるであろう課題の調査結果を報告。その後、参加者も交えて、感じている課題についてディスカッションを行いました。

白書発行をお楽しみに!

開催日：2022年11月29日（火）
会場：オンラインツール「Zoom」にて開催
参加者：11名

第12回 スキマ研究会

舞い上がれ 社会を変える みんなの力
休眠預金活用事業

開催日時：2022年11月4日（金）19:00〜21:00
会場：村半＆：オンラインツール「Zoom」にて開催
共催：認定NPO法人まちづくりスポット
　　一般社団法人もちもちびと
参加者：現地参加37名、オンライン11名
講師：国立精神・神経医療センター　松本俊彦 医師

第12回のスキマ研究会は、「いろんな依存と死にたいきもちシンポジウム」と題して開催されました。精神面での生きづらさを抱えている人の支援に取り組んできた〈一般社団法人もちもちびと〉自立訓練ひるねこが、「依存症」「死にたい」をタブー視せず、その手前の気持ちを含めオープンに語り、共に考える場を作ることで、少しでも生きやすい地域になることを願って企画されました。依存症と自傷行為研究の第一人者である松本俊彦医師とオンラインでつながりました。当事者の方、経験者の方、ご家族の方、医療関係の方、福祉関係の方から貴重な想いを聞くことができました。最後には、「明日からできることは何か」について参加者と松本医師と一緒に考えました。

まちスポの窓 つぶやきコーナー

行事続きだった
我が家の「霜月騒動」が
やっとおさまった
田辺

最近気になることは
カピバラの湯冷めです
板屋

良い夫婦の日に入籍しました♡
五十嵐

11月のホームページ更新

http://machispo.org

- 開催報告）第11回スキマ研究会
  http://machispo.org/2022922sukima/
- 会報105号
  http://machispo.org/kaihou105/
- 交流スペース「イベント情報」
  http://machispo.org/event/

さるぼぼコイン クレジットでの賛助会員入会が可能になりました!

詳しくは こちらを ご覧ください!
http://machispo.org/donation

活動を応援してくださる方を募集しています。

- 個人年会費 1口 ￥3,000
- 法人年会費 1口 ￥5,000

納入先
郵便振替 00840-9-183216　特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合　松泰寺支店（普）0793442　特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫　駅 西 支 店（普）0166788　特定非営利活動法人まちづくりスポット

2022年12月15日発行（通巻106号）
発 行：認定NPO法人 まちづくりスポット　発行者：竹内 ゆみ子　編 集：五十嵐 浩子
〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8フレスポ飛騨高山内　TEL 0577-62-8550　FAX 0577-62-8580　info@machispo.org
事務局休館日：毎週火曜（火曜祝日の場合は水曜日）年末年始

飛び出せ★元気市民

とやま

彩音（さおん）

代表 谷村由美子（たにむら ゆみこ）さん

いろんな音がひびきあう アンサンブルの楽しさを伝えたい

昨年からまちなかサロンで初心者向けの大正琴のサークル「彩音（さおん）」の活動をスタート。今年のまちなかサロンの文化祭では、まちスポサポーターとしてイベントの準備や運営面でも活躍された谷村さんにお話を聞きました。

大正琴との出会い

谷村さんが大正琴と出会ったのは、5年前。高校時代のブラスバンド部の友人に誘われて、大正琴のコンサートに行ったのがきっかけでした。所属する団体では、年に1～2回、ステージでコンサートを開催しています。その魅力にはまるうちに、指導者コースで資格取得を目指し、名取となったことをきっかけに、人に教えて広めていきたいという思いが生まれました。

「大正琴の魅力は、なんといっても音が美しいこと。そして、パートごとにわかれた音が一つになって響き合うアンサンブルのハーモニーが好き」と話す谷村さん。楽器の魅力を伝えてみることから始めたいとまちなかサロンでの活動をスタートさせました。

聞き書きボランティア活動にも参加

いつ出会っても笑顔で気軽に声をかけてくださる谷村さん。まちなかサロンでは、彩音を始める前から「聞き書きカフェ富山」の活動にも参加しています。いろんな方のお話を聞いて1冊の本にまとめるという聞き書きの活動。「知らない人と話しても緊張しなくなり、コミュニケーションスキルがアップしたように思います」。

文化祭でミニコンサート！

11月27日に開催された「まちなかサロンの文化祭」では、サロンの活動を紹介するミニ体験会でソロ演奏を披露。「演奏のほうはミュージックプレイヤーの操作を間違えたり、グダグダなところはありましたが、いまの自分なりに表現できたのではないかと思っています。伴奏データと大正琴の音のバランスや伴奏と合わせて弾くことの難しさなど気づきもたくさんありました」。優しい音色と雰囲気に魅了された観客からはアンコールの声も上がっていました。「展示も急遽させていただいたのですが、お隣とお向かいの出展者の方に話しかけて体験してもらい『あーっ、なるほど！』と楽器に興味もってもらえたのは、うれしかったです」。

まちスポサポーターとして活動

文化祭ではボランティアの募集にもすぐに手をあげてくださり、他団体の展示や準備を前日からサポートするなど大活躍。「サポーターとして他の団体の体験に参加することでコミュニケーションもとれ、演奏も聴いてもらって良いつながりができました。もっとたくさんの団体が参加してもっともっと盛り上がっていったら楽しいのに」と感じたそうです。

今後は、若年層にも大正琴の魅力を広げていきたいという谷村さん。ここから始まった活動で4人でのアンサンブルが実現することが目標です。

まちなかサロンが開設して5年。谷村さんのようにここで活動される方自身が新たなつながりを生み出していかれた、そんな瞬間に立ち会えた節目の文化祭になりました。

ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山
〒506-0025　岐阜県高山市天満町1-5-8（フレスポ飛騨高山内）
TEL: 0577-62-8550　FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org　HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま
〒930-0083　富山県富山市総曲輪4丁目4-3（総曲輪レガートスクエア内）
TEL: 076-461-3332　FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org　HP: http://machispo.org

総曲輪レガートスクエア官民連携事業

と・や・ま

総曲輪レガートスクエアの 冬支度

主催：総曲輪レガートスクエア協議会
開催日：2022年11月10日（木）　**参加者：**7名

穏やかな小春日和の日、総曲輪レガートスクエア内の花壇「コミュニティガーデン」では、グリーンボランティアとして登録している総曲輪レガートスクエアの利用者や、地域のグリーンキーパーの方が参加して、植替え作業を行いました。花の種を事前に持ってきてくださる方もいて、来春に向けて、チューリップの球根や寒さに強い花苗とともに植え付けました。参加者は自宅で植えている植物や畑仕事の話などに花を咲かせながら、和気あいあいとした雰囲気で交流を楽しんでいました。来年の春夏は、いろいろな植物の開花を心待ちにできそうです。

総曲輪レガートスクエア5周年記念 まちなかサロンの 文化祭

主催：総曲輪レガートスクエア協議会
開催日：2022年11月27日（日）　**参加者：**575名

総曲輪レガートスクエアが開設されて5周年となった節目の文化祭。毎年秋の文化祭では、まちなかサロンで活動するみなさんの展示紹介などを行ってきましたが、今年は17団体の展示に加え、新たな試みとして「ミニ体験会」を開催。体操やヨガ、琴の演奏など6つの団体が普段の活動を短い時間で提供する時間を設けました。参加者の中には、一般の方はもちろん、他団体から「やってみたかった」と参加する人も。まちなかサロンで生まれたコミュニティ同士が交流し、さらに新しい風が生まれていました。

また、5周年を迎えた総曲輪レガートスクエア各施設のことも知ってもらおうと、「GO!5スタンプラリー」を開催。親子連れなどがクイズにこたえながら、各施設や屋外の植物、ガラス作品などをめぐりました。屋外には、まちなかサロンの登録団体「園むすびプロジェクト」の企画による「あったかコーナー」が開催され、こたつとストーブを設置し、温かい飲み物やみかんを販売。おばあちゃんから赤ちゃんまでの多世代が、開催時間中かわるがわるこたつに集うほほえましい光景がみられました。参加者は「子どもとスタンプラリーを楽しめました」（幼児連れの女性）、「体験会に参加したりこたつで話したりできて、今日一日、超楽しかった！」（70代女性）、「初めてここに来ましたが、また絶対来ます」（50代女性）などと話していました。

ミニ体験会（左）と スタンプラリー（右）